

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所きりんくらぶ		公表日		2025年 3月 10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・職員が目が届く、死角がない空間になっています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・国の人員配置基準を満たしています。 ・専門性を備えた職員を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・活動スペースを区切って分かり易くしています。 ・ケガ防止のための対策をとっています。(ドアの隙間、ロッカーの転倒など)	・安心、安全な環境作りを心掛けていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・こどもの状態に合わせて室温や換気などを調整しています。 ・毎日活動終了後に掃除、消毒をしています。 ・整理整頓を心掛けています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・パーティションを活用して個別の空間を作れるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・毎月、ミーティングを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・保護者評価表を参考に改善を図っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・毎月ミーティングを行っています。 ・定期的に管理者との面談を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	・昨年度、監査があり改善しました。 ・関係機関や保護者の見学などを実施し、外部の視点や意見を聞く機会を設けています。	・第三者による評価の実施については今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・外部研修の機会を設けています。 ・職員だけでなく外部講師を招き、1~2ヶ月に1回程度勉強会を行っています。 ・毎日、ミーティングを行っています。	・引き続き、職員の資質向上を図るための研修への参加を促していきます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・ホームページにて公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0		・保護者の意向を聞き、客観的に分析し個別支援計画を作成していきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・ミーティング時に話し合っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・ミーティング時に確認しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・浜松市のアセスメントツールを活用している		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・児童発達支援ガイドラインに沿った支援内容を設定している	・こどもの特性や発達状況を踏まえ、より具体的な支援内容を設定していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・アドバイスを欲しい時には他職員と話し合い、決めています。 ・役割を決めて動いています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・曜日によって利用するこどもが入れ替わるため、こどもの発達、課題に応じた活動内容を考えられています。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・基本集団活動を中心に行っていますが、OTが専門支援として少人数または個別活動も行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・朝のミーティングで話し合っています。 ・気になるこどもや支援活動の目的を、打ち合わせて伝えるよう意識しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・打ち合わせの時間としては設けていませんが、気になった点やこどもの様子については、その日のうちに話し合い共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・こどもの気になった事など毎日記録をとっています。 ・ミーティング時に話し合っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・支援計画の見直しの必要性などは、職員間で確認しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		・可能な限りこどもの特性を理解している職員が会議に参加します。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・医療機関には保護者からの依頼に応じてこどもの状態を書面で渡しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・保育所等訪問にて園と連携を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・就学先との引継ぎを行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-	-		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	・児童発達支援事業所の連絡会や研修に参加しています。	※わからない 1名
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	・事業所の活動内では交流はありませんが、併行通園先では他児と交流しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・定期以外に、希望に応じて面談を実施しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・今年度は2回、ペアレント・トレーニングを行いました。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に説明しています。	・ホームページにて支援プログラムなどを公表しています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		・保護者の意向は聞いていますが、個別支援計画への反映が不十分だったため、こども本人の意思も含め、保護者と協力して計画を作成していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・保護者には個別支援計画書を示しながら説明し、同意を得ています。	・伝えきれていない事もあるので、丁寧な説明を心掛けていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・相談にはいつでも応じられるよう準備しています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・保護者会やピア交流会の機会を設けています。	・引き続き、保護者同士が交流を持てる機会を企画していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・相談を受けた職員はすぐに他職員に伝達し、早急に対応できるよう心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・通信を年4回発行しています。 ・連絡事項などは言葉と書面で発信しています。 ・遊びを通して学ぶ事ができることを伝えられるように意識しています。	・親子で活動内容のやりとりができるよう、より具体的に伝えていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・契約時に説明し、同意を得ています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・言葉と書面で伝えていきます。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	・100万人コンサートなどの行事に近隣の方を招待しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・契約時に、各マニュアルを説明し配布しています。 ・委員会を定期的に行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・BCPについての勉強会を外部講師に依頼して開催しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・服薬状況や子どもの状態については送迎時に確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・保護者にアレルギーを確認し、できる範囲で対応していますが、無理な場合は弁当持参をお願いしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・各災害を想定した訓練を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・保護者に訓練内容を報告しています。 ・安全計画に基づき感染症などの注意喚起を行っています。	・引き続き、安心で安全な対応を心掛けていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリハット・事故報告は即報告・共有し、再評価の日を決めて定期的に検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・外部研修に参加しています。 ・定期的に内部研修を行っています。 ・虐待防止チェックリストを活用して、虐待に対する意識や状況把握に努めています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	・現在対象者はいませんが、契約時に説明しています。 ・児童発達支援計画書に記載しています。		